

讚美歌467番

詞：Jemima Thompson Luke 曲：William Davenant

おもえばむかしイエスキミ おさなごをあつめ
ともにあそばせたまいし その日なつかしや
「われにこよ。おさなき子」と よびまししきみの
あいの御手にいだかれて みーかおあおがばや

きみは今もみ空にて 子らを召したもう
いざやともにゆかまほし こいしきみもとに
すくわれし子らの家は みくににそなわり
おおくのおさなごつどいて きみをほめたたう

～春の日の花と輝く～

- 1 春の日の花と輝く
うるわしき姿の
いつしかに褪せてうつろう
世の冬は来るとも
我が心は変わる日なく
御身をば慕いて
愛はなお緑いろ濃く
我が胸に生くべし
- 2 若き日の頬は清らに
わずらいの影なく
御身いま艶にうるわし
されど面褪せても
我が心は変わる日なく
御身をば慕いて
向日葵の陽をば恋うごと
とこしえに思わん